

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 2 日

札幌市立 清田中学校

1 今年度の重点目標

・学力の育成 ・豊かな心の育成 ・健やかな体の育成 ・特別な配慮を必要とする子どもへの教育
 ・信頼される学校の創造 ・働き方への取組

2 本年度の経営方針

子どもの声を聴く 子どもを支える 居場所づくりをめざす
 ・生徒が夢をもてる学校 ・生徒一人一人の「居場所」があり、楽しく・安全・安心な学校
 ・保護者・地域に親しまれ、信頼される学校

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	温かいあいさつ 文武両道 チャレンジ	深く考え、ねばり強く実践する 学び方を身につける 美しい心をそだてる たくましい体力をつくる	B	様々な教育活動において、「清中生のABC」の意識 付けを図り、全教職員が一体となって「目指す生 徒像」の実現に向けた取組をさらに推進してい く。	A	A
学校関係者評価委員会 による意見		学校が目指す子ども像が「清中生のABC」ということばによって、とても分かりやすく定着しやすいものになって いると思います。				
人間尊重の教育	特別な配慮を 必要とする子 どもへの教育	長期欠席・不登校生徒の未然防止と 「聖域なき支援」の実行 子ども一人一人の教育的ニーズに応じ る連続性のある多様な学びの場の活用 インクルーブ教育の推進と充実	A	新たな不登校を生まない学校づくりを進めるとと もに、生徒の学業不振や登校不安に寄り添い、個 別の支援に継続して取り組む。	B	A
「学力」の育成	「学力」育 成プログラム の実施	学習指導要領の実践と評価 「課題探究的な学習」を取り 入れた授業の充実 タブレット端末を活用した教 育活動の実践	B	AARサイクルを活用し、生徒自身が活動の見通しを立 て、行動中に考えを改善し、振り返りを通じて次の行 動に生かすという、継続的に思考を改善していく学習 サイクルを確立し、学力向上に直結する質の高い授業 づくりを推進していく。	A	A
「豊かな心」の育成	命を大切にす る教育	自分を大切に思う自尊感情の 育成 他者を思いやる心や生命を尊 重する心の育成 生徒の不安や悩み気付き意識 や環境づくり	A	各種アンケートや教育相談を積極的に活用し、全 教職員が生徒理解に努めるとともに、生徒の自己 肯定感や自己有用感を育む指導の一層の充実を図 る。	A	A
「健やかな体」の育成	「健やかな 体」育成プロ gramの実施	体力、運動能力向上のため の場の設定 札幌らしい特色ある学校 教育「雪」を活用した教 育活動	B	授業以外での運動の機会の創出する取組として大縄跳びコ ンクールを実施した。また、保健体育科の授業では、雪中リ レーなど雪に親しみながら運動を行うことができた。体育授 業の充実、授業以外で生徒の運動機会を創出取組、運動系部 活動の充実などによる、体力の向上を図る取組を更に強化す る。	A	A
いじめ対策	いじめの防止	「いじめ防止対策推進法」に 基づく組織的対応 家庭・保護者に対する丁寧な 説明と対応 生徒が主体となる小中一貫し た未然防止の取組推進	A	全教職員の共通理解に基づく指導の徹底や見守り体制 の強化など、安心して過ごせる学校生活の実現に向け た取組を継続して進める。また、生徒支援委員会が決 定した計画や方針に基づき、いじめの未然防止・早期 発見・対処の取組を組織的に進める。	B	A
一貫性・連続性のある教 育(小中一貫した教育)	小中一貫した 教育の推進	パートナー校3校による連携 した組織づくり 札幌教研春の研究集会における 公開授業と情報交換 4つのグループ会議の充実と 全体会での情報共有	A	本校生徒会とパートナー校の児童会で交流がで き、合同の挨拶運動も実施できた。校区内パート ナー校との連携を密にし、学習や学校生活の系統 性・連続性を意識した指導と支援の一層の充実を 図る。	A	A
学校関係者評価委員会 による意見		・不登校の未然防止やいじめ防止対策において、計画された各施策が着実に遂行されている点は評価します。一方、不登校 生徒が0ではなく、いじめは常に予兆を見逃さないという危機感を共有すべきです。構築された体制を、形式的運用に留め ず、個々のニーズに応じた実効性をさらに高め、次年度は生徒一人ひとりの状況改善という具体的な成果につながる取組を 期待します。 ・「学力」や「健やかな体」の育成については改善策が具体的に示されており、今後の取組に期待しています。				
学校独自に 設定する分野	参加型PTA活動等を通した学校公開の推進		A	給食試食会や花壇整備などのPTA行事への参加、陸上競技会 などの行事や学校公開日に来校していただいた。保護者に来 校してもらう機会の創出や参加型PTA活動を通した学校公開 の推進を強化していく。	A	A
学校関係者評価委員会 による意見		・今後は、現在の枠組みをさらに広げ、保護者のみならず、地域住民との直接的な交流の機会をより一層充実さ せることを期待します。 ・開かれた学校を目指す取組を具体的に行っており、学生ボランティアを導入していただき、ますます発展する ことを期待しております。				